

令和8年度 当初予算案等の概要

2026年2月5日

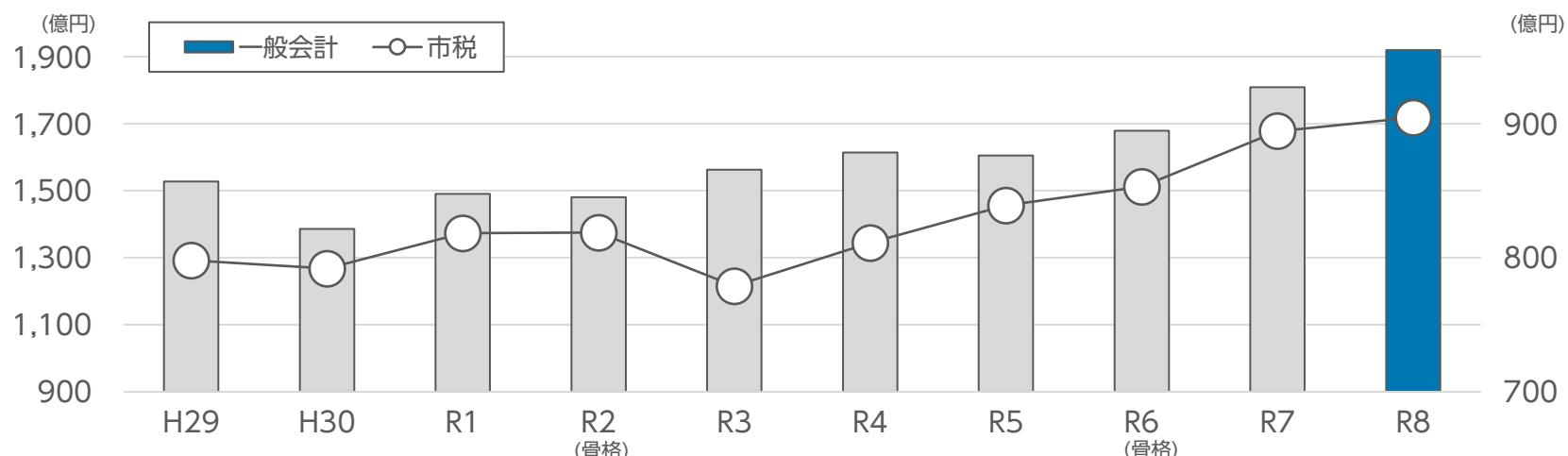
令和8年2月 藤沢市議会定例会
記者会見資料



健康経営優良法人
KENKO Investment for Health
大規模法人部門

当初予算案の概要

区分	令和8年度 当初予算額(A)	令和7年度 当初予算額(B)	差額(A-B)	前年度比 (A/B)
一般会計	1,919億8,100万円	1,808億9,500万円	110億8,600万円	106.1%
全会計	3,317億9,247万円	3,143億7,557万円	174億1,690万円	105.5%
市税	904億5,600万円	894億円3,400万円	10億2,200万円	101.1%



当初予算案の性格

<歳出>

物価高騰等の影響が継続していることに加え、扶助費が大きく増加した

<歳入>

財源対策として特例的な借り入れである
「調整債」を18億円計上するとともに、
財政調整基金を過去最大となる53億円
取り崩した(前年度比+13億円)

社会課題に対応する事業拡充を図りつつ、
急激な市民サービスの低下を回避する予算とした

将来への積極投資

① 子育て支援の充実

- ・フリースクール等に通う児童生徒の保護者等に対する経済的支援
- ・善行保育園新園舎の整備、法人立保育所の開所
- ・医療的ケア児の受入れを新たに3施設で実施
- ・サマースクール実施箇所の拡大
- ・妊婦健康診査の費用助成増額
- ・産後ヘルパー事業の実施 など

② 教育環境の充実

- ・小学校給食の無償化
- ・屋内運動場の空調設備設置校の拡大
- ・次期学校ICT基盤の更新とデジタルドリルの導入
- ・老朽化した小・中学校(辻堂小、鵠洋小、鵠沼中)の再整備
- ・特別支援学級の整備 など

当初予算案の参考数値

① 財政調整基金残高(年度当初)

令和7年度：74億円 ▶ **令和8年度：59億円** (▲15億円)

2年続けて基金残高を大幅に減らすこととなり、これまでと同じ市民サービスを継続すると、令和9年度で枯渇してしまう見通し

② 経常収支比率

※正式な数値は決算に基づく指標であり、予算の数値は参考である。
決算では予算の執行残等が生じるため、正式な数値は低くなる。

(令和6年度決算：94.9%)

令和7年度：100.2% ▶ **令和8年度：104.3%**

(4.1ポイント上昇)

経常収支比率が100%を超えると、経常的な歳出(人件費や扶助費、公共施設の維持管理費等)を経常的な歳入(市税等)でまかなえない状態となり、本市財政は硬直化してきているということ

安定した財源だけでは予算が編成できないということ

① 安全で安心なまち

耐震改修補助限度額の引上げ

住まい暮らし政策課
850万円

建築物等防災対策事業費

今般の資材高騰等に対応し、さらなる耐震化促進のため、
木造住宅耐震改修補助限度額を90万円から115万
に引上げます。

	令和7年度まで	令和8年度から
補助額	改修費用の1/2 (限度額90万円)	改修費用の1/2 (限度額115万円)

※耐震診断費用の追加補助制度は廃止となります。

(令和6年能登半島地震被害状況)



消防力の強化

① 救急隊増強

救命効果の向上を目的に、現在24時間体制が整備されていない鶴沼、片瀬両地区に救急隊を常駐させることにより、救急需要増加への対応を図ります（運用開始予定 令和9年4月）

救急救命課
8,663万円
救急需要対策事業費

② 情報収集用ドローンの整備

大規模災害発生時等に迅速な情報収集体制を確立するため、高性能ズームや赤外線機能を有するカメラ、スピーカー等を搭載したドローンを整備します

警防課
604万円
大規模震災等対策強化事業費



市民センターにおける 福祉機能の充実

地域福祉推進課・
藤沢市民センター

**地域における福祉の相談・支援機能の充実や
福祉の地域づくりを促進するため、福祉職の配置を進めるとともに
藤沢市民センターに地区福祉窓口を開設します**

- ・ **藤沢市民センター地区福祉窓口の開設**
令和8年5月予定
- ・ **福祉職の配置**
社会福祉士などの資格を持つ職員を
8地区の市民センターへ専任配置
(六会、片瀬、明治、善行、湘南大庭、湘南台、鵠沼、村岡)

市内13地区の全ての
市民センターと石川
分館に地区福祉窓口
が設置されます



地区福祉窓口に寄せられた相談などから、地域生活課題を市民センターで把握し
地域づくりに生かすことをめざしています

終活支援

地域福祉推進課

福祉総合相談支援センター(本庁舎2階)の機能拡充を図り、
自己の最期への不安等を受け止め、自らの備えを促す
終活支援相談を実施します

- ・ 終活支援相談の実施



- ・ 情報登録事業の実施



緊急連絡先等を事前に登録することで、
ご自身の“もしも”の時にご自身の意思の反映につながるよう
お預かりした情報を指定した先にお伝えします

③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

子どもたちの「やってみたい」を実現

子ども総務課
186万円

こども施策関係事業費

(仮称)藤沢市子どもファンド事業の試行 ～「こどもまんなか社会」の実現に向けた取組の推進～

様々な地域課題の解決やまちの魅力の向上を目指し、
子どもたちが、自分たちの視点で、自ら声を上げて取り組み、
「自ら社会を動かす経験」を提供します



こんなことは
やれるかな？



いいアイデア！
やってみようよ！



③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

子どもの育ちと子育て家庭を支援

① こども誰でも通園制度の実施

保育園等に通園していない0歳6ヶ月から

満3歳未満までの子どもを対象に、利用可能時間の範囲内で、就労要件を問わず時間単位で柔軟に利用できる制度が、4月からスタートします

保育課
5,849万円
乳児等通園支援事業費

② 善行保育園新園舎の整備

老朽化した公立保育園の施設の安全性の確保等に対応するため、善行保育園と善行乳児保育園等を複合化し、整備を進めています

・令和8年12月の竣工予定

子ども総務課



③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

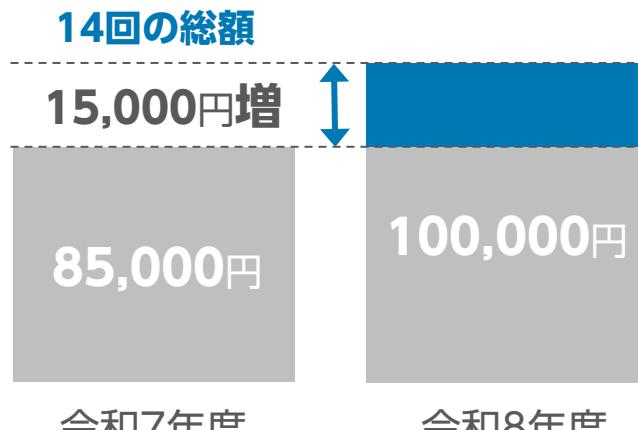
健やかな妊娠・出産・産後のサポート

親子すこやか課
3億5,103万円
妊娠・出産包括支援事業費

※予算額は記載の事業の合計

安全・安心で健やかな妊娠・出産・産後をサポートするため、
妊娠健康診査の費用助成を1万5千円増額し10万円にする
とともに**産後ヘルパー事業**を開始します

① 妊婦健康診査費用助成



② 産後ヘルパー事業

対象

多胎児及び慢性疾患児
等を養育する家庭

内容

- 食事の準備・片付け、掃除、
洗濯、買い物等の**家事支援**
- 授乳・沐浴準備、おむつ交換
等の**育児支援**



※一部利用料の自己負担あり

③ 笑顔と元気あふれる子どもたち

デジタルドリルの導入(中学校)

教育総務課
3,434万円

教育情報機器関係費

中学校にデジタルドリルを導入し、個別最適な学びの充実、情報活用能力の育成、教員の働き方改革を図ります。

① 個別最適な学びの充実



AIによる演習問題の最適化や動画解説により、生徒一人ひとりの習熟度やペースに合わせた学習を提供し、学習の定着度を高めます。

② 情報活用能力の育成

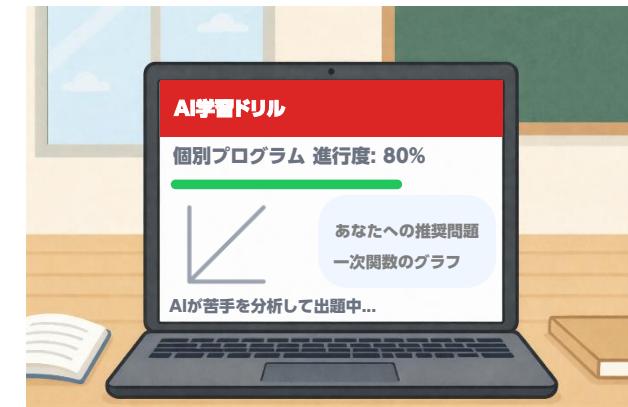


日常的にICT機器を活用する環境を整え、情報を正しく選び、主体的に使いこなす力を育みます。

③ 教員の働き方改革



宿題の自動採点や単元ごとの問題配信機能により、作問・採点業務を効率化。教員が児童生徒と向き合う時間を創出します。



デジタルドリルイメージ

④ 都市の機能と活力

藤沢聖苑(火葬場)の再整備

福祉総務課
5,203万円
火葬場整備事業費

藤沢聖苑再整備の基本構想策定に先駆けて、具体的な**建設設計画等**、
一定の整備方針を定めるため、専門的な知見を持つ
外部コンサルティングを活用した**調査業務**を実施します

- **建設設計画及び施設、設備計画の検討**

複数段階及び複数エリアに分割した
新施設整備の検討等

- **整備、運営手法に関する検討**

民間活力導入可能性の確認及び
整備、運営手法の方向性の検討等

- **業務報告書の作成**



藤沢聖苑エントランス

産地競争力の強化

産地競争力の強化と継続的な産地形成、農業経営の安定化を図るため、生産工程の省力化や農産物の安定生産・供給を図る機械等の導入を**支援する**（9事業）

＜代表的な事業の一部を抜粋＞

園芸用施設被覆材張替補助事業



フィルムに加え、**ガラス等も補助対象**とし、藤沢産農産物の「品質向上」、「生産量の増」を図ることで、施設園芸農家の所得増につなげる

非破壊糖度計導入事業



※画像はイメージ

農業水産課
3,334万円

産地競争力強化事業費

- ・ブドウの糖度分布を正確に把握
- ・品質を高レベルで管理
- ・ロスの減少

令和7年度、かながわブランド登録を契機に
『藤沢生まれの藤稔』のブランド力の更なる強化を図る

④ 都市の機能と活力

湘南ライフタウンの活性化促進

住まい暮らし政策課
1,112万円

住宅政策推進費

ニュータウンにおける団地再生の取組の一環として、地域の活性化に向けて**将来のまちづくりのキーパーソン**となり得る人材の**発掘**と、その人材の**育成**プログラム等を実施します



湘南ライフタウンの街なみ



人材育成プログラムのイメージ

④ 都市の機能と活力

村岡新駅周辺地区の整備

- ・**村岡新駅設置事業**
(新駅設置負担金)
- ・**土地区画整理事業**
(造成工事等補助金)
- ・**村岡新駅南口通り線整備事業**
(整備工事、移転補償等)



都市整備課
26億8,241万円

村岡地区都市拠点総合整備事業費



(南東方向から)



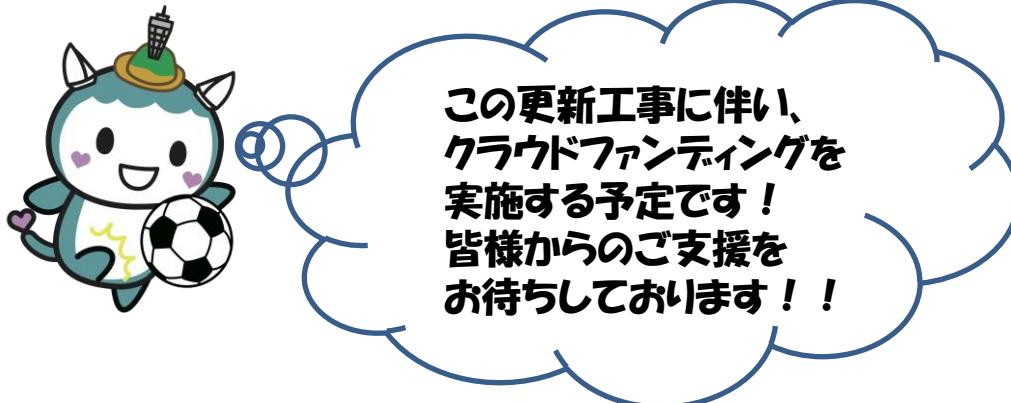
※JR東日本提供
Copyright © Fujisawa City. All rights Reserved.

⑤ 未来を見据えて

秋葉台公園球技場人工芝更新工事

スポーツ推進課
2億8,455万円
スポーツ施設整備費

秋葉台公園にある球技場の人工芝は、設置から**10年以上**が経過し、劣化が進んでいるため、引き続き市民の皆様が安心して利用できる球技場とするべく、人工芝の**更新工事**を行います。



※なお、人工芝更新作業の予定時期は、令和8年12月から翌年3月頃までを予定しており、令和9年度からの供用開始を目指します。

⑤ 未来を見据えて

全品目戸別収集の試行区域拡大

環境事業センター
1,969万円

廃棄物等戸別収集事業費

市民の排出負担の軽減や、道路上等にある資源集積所の維持管理の負担軽減を目的に、全品目戸別収集の試行区域を拡大します。

集積所で収集している資源(4品目)

- 段ボール
- 新聞・折込広告
- 飲料用紙パック
- 古布類

試行収集区域の拡大(令和7年度1自治会)

御所見、湘南台、村岡、辻堂、湘南大庭の5地区
9自治会・町内会へ拡大



不燃ごみの品目変更等

「不燃ごみの品目変更」及び「リチウムイオン電池内蔵製品の取扱い変更」を4月の本格実施前に移行期間として1月19日から実施しています。

⑤ 未来を見据えて

地球温暖化対策設備導入の補助拡大

ゼロカーボン推進課
150万円

ゼロカーボン推進補助事業費

地球温暖化対策のさらなる推進を図るため、新たにエコキュート等の給湯機器やプラグインハイブリッド自動車(PHEV)及びV2H充放電設備を補助対象設備として拡大します。



V2H充放電設備

新規対象設備

・高効率給湯機器導入補助

(R7)

- ・エネファーム(家庭用燃料電池)



(R8)

- ・エネファーム(家庭用燃料電池)
- ・(追加)エコキュート(ヒートポンプ式給湯機)
- ・(追加)ハイブリッド給湯機

・次世代自動車導入補助

(R7)

- ・電気自動車(EV)
- ・燃料電池自動車(FCV)



(R8)

- ・電気自動車(EV)
- ・燃料電池自動車(FCV)
- ・(追加)プラグインハイブリッド自動車(PHEV)
- ・(追加)V2H充放電設備(加算措置)

補正予算案の概要

令和7年度 2月補正予算案の概要

会計別	12月補正後 予算額(A)	専決処分による 補正額(B)(※)	2月補正予算額(C)		2月補正後予算額 (A+B+C)
一般 会計	1,880億8,387万円	2億1,546万円	108億 1,637万円	うち第8号 26億8,303万円 うち第9号 81億3,334万円	1,991億1,570万円
全会計	3,221億3,425万円	2億1,546万円	116億1,718万円		3,339億6,690万円

(端数処理の関係で合計が合わない場合があります)

※衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査を実施するため、
1月19日付で専決処分を実施したもの

補正予算案の主な事業

避難所における生活環境の改善

防災政策課
7,587万円

地域防災緊急整備事業費

国の「地域未来交付金(地域防災緊急整備型)」を活用し
発災後の避難所において、迅速に**快適なトイレ環境**を実現するため
自動ラップ式トイレを整備するとともに、機動力の高い**トイレカー**を導
入し、自治体間支援体制の強化を図る。



自動ラップ式トイレ(162セット)
【避難所81カ所 男女各1セット】



トイレカー(2台) イメージ
【災害対応車両登録制度の活用】

この資料に関する問い合わせ先

藤沢市役所

財務部 財政課 山本 内線2301

市長室 秘書課 加藤 内線2110

企画政策部 広報シティプロモーション課
橋本 内線2120